



かいじょう
海城中学高等学校

男子校 中2・9月まで転編OK

先生からの一言!

男子校で共に過ごした学友は卒業して他の大学に進んでも終生付き合える友だちになります。日本国内でも今や数少ない“男子校”へ是非!



校長特別補佐
中田先生



いまの時代の“新しい紳士”を育成

政府の提言と合致した
本校の教育内容

本校は、25年前、創立100周年を迎えた翌年の1992年から「教育改革」をスタート。以来、「国家・社会に有為な人材を育成する」という建学の精神の下、いまの時代に適ったリベラルでフェアな精神を持った「新しい紳士」の育成に努めてきました。本校の考える「国家・社会に有為な人材」とは、「新しい時代が要請する人間力と学力の、バランスがとれた人間」です。そしてこれは、2020年度からの大学入試改革で見極めようとしている、これからの時代の若者に像に合致しています。

●体験学習の実践

グローバル社会において、互いの違いを理解・尊重する「共生能力」、異質な者同士がよいところを引き出しあい、新たな価値を創造する「協働の力」は必須です。そのため、2つの体験学習を導入しています。

1つは、中1・中2次に行うPA(プロジェクトアドベンチャー)。様々なアクティビティを通じて人間関係を構築していくプログラムです。与えられたテーマを解決し、良かった点を認め合い、改善点を話し合う過程で、互いの存在を認め、信頼関係を築いていきます。また、自分の意思に基づいて挑戦する負荷の高い課題では、必ず仲間からのサポートを得ます。人間が勇気をもって何かに挑戦するときは、信頼できる仲間のサポートが大切だということを学ぶのです。

2つ目は、中1〜中3次のDE(ドラマエデュケーション)です。これは演劇的手法を取り入れた学習プログラム。生徒たちは、たとえば、班ごとに一人の大人から聞いたエピソードに基づき、班全員でシナリオを書き、ドラマとして演じます。一連の作業を通じて、他者との異質性に気付き、イメージのすり合わせ・共

有の術を学びます。

●課題設定・解決能力育成
複雑化した現代社会では、難解な諸問題を解決するため、自ら課題を見つけ、調査・熟考し、何らかの価値判断を加えて選び取った解決策を人に分かりやすく伝えるといった統合的な問題解決能力が必要不可欠です。そのため中1から中3まで、「社会科学総合学習」を週2時間で実施しています。レポートのテーマを自ら設定し、企業等へ取材し、文献を調べ、考えをまとめ、発表し、レポートに書くことを毎学期行います。中3では、各自が原稿用紙30枚以上の卒業論文を書き上げます。この取り組みは、各所で高い評価を得ています。

●興味関心を独自に刺激

変化が激しい時代において豊かな人生を送るためには、一生涯が続けることが不可欠です。また、科学技術やITの発達によってあらゆる情報を自身で調べられるようになり、授業の枠

を超えた突き抜けた興味関心を持つ生徒もこれまで以上に増えてきました。こうしたニーズに答えるべく、2017年度から「KSプロジェクト」と題した選択制の特別講座を開講。プログラミングや模擬裁判、国語・社会・理科が融合したワールド演習など、文理の枠を超えた多彩な学びを提供しています。専門家への対面取材など外界とのつながりも重視しており、この学びを通じて生徒は大きく成長していきます。同時に、高校時代の学びの履歴が重視される新しい大学入試でも大きな効力を発揮します。

グローバル教育の推進
高レベルな教育を実施

文部科学省では、2012年度から大学教育のグローバル化を推進し、世界で活躍できる人材を育成する事業を本格的に開始しています。本校でも、時を同じくして2012年度に「グローバル教育部」を充足。以来、その内容を拡充させています。

●英会話の取り出し授業

放課後の特別英会話の講習も継続しつつ、現在は、正規の中1・中2の「英会話」の授業で、英語力のある生徒を対象にした「取り出し授業」を実施しています。また、教育内容の違いによって遅れがちな「国語」や「社会」などは、きちんとフォローしていきます。

●高レベルな海外研修

中3次にアメリカ、高1・高2次にイギリスでの研修、高1・高2次にカナダでの短期留学を実施しています。高校での長期海外留学では、復学の際、留学時の単位を認める内規も整えています。

●海外大学への進路支援

毎年海外進学ガイダンスを開催するほか、SATやTOEFL対策や書類作成、個別相談など、日本語の話せるネイティブ教員などが全面的に支援します。

| 帰国生入試 生徒募集要項 | | 2018年度 大学合格実績 ()は現役 | |
|--------------|---|----------------------|---|
| 募集人員 | 男子30名 | 出願期間 | 2018年12月初旬～予定。 インターネットによる出願。 ※決まり次第、本校HPに掲載 |
| 応募資格 | ①2019年3月小学校卒業見込みの方。②同居の保護者、または保護者の認める成人のもとから通学できる方。③2013年4月1日から2019年3月31日までの間に2年以上海外に在住し、かつ、2016年7月1日以降に帰国した方。◇帰国生入試の受験者は、一般入試①・一般入試②も受験可能です。 | 出願手続 | インターネット出願手続き完了後、 海外生活証明書・面接カードを提出 |
| 科目 | [A方式]算数・国語・面接 [B方式]算数・国語・英語・面接 ※A・B方式のいずれかを選択。算数・国語はA・B両方式共通問題。 ※面接はいずれも10分程度、受験生のみ。 ※面接時に「生活していた国や地域と日本との違い」について2分程度の日本語スピーチあり。 | 試験日 | 2019年1月7日(月) |
| | | 国公立大学 | 48(41) |
| | | 東京大学 | 11(8) |
| | | 京都大学 | 10(6) |
| | | 東京工業大学 | 16(12) |
| | | 一橋大学 | 40(24) |
| | | 国公立大学医学部 | |
| | | 私立大学 | |
| | | 早稲田大学 | 156(107) |
| | | 慶應義塾大学 | 128(96) |

※国公立医学部には防衛医科大学5(2)を含む
※上記は、2018年3月24日現在判明分からの抜粋